**令和5年度　認定こども園すみれ保育園　園の評価**

評価基準

a　…　十分できている　　　ｂ　…　できているが十分ではない

c …　あまりきていない　　ｄ　…　ほとんどできていない。改善を要する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 評価項目 | 総合評価 | 個人の改善点 |
| 保育の理念・基本方針 | 園の保育理念や保育目標をしっかりと理解できていますか。 | ｂ | ・主体的保育について共通認識を持てるようにし、主体性を育むとは何かを考え続けていく。 |
| 子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。 | ｂ | ・人に優しく、相手を思いやれる心をどう育てられるのかを考えていく。  ・一人ひとりを大切にする気持ちはこれからも大切にしていく。 |
| 保育の内容（健康） | 子どもの発育や状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。 | ｂ | ・今後も一人ひとりのペースに合せた生活リズムを大切にしていきたい。  ・保育教諭間で情報共有を行うことで、子どもの |
| 登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。 | a | ちょっとした変化に気付くきっかけになった。  ・今後も一人ひとりの健康状態に留意しながら保 |
| 保育中、子どもの様子（機嫌、食欲など）の把握をしていますか。 | ｂ | 護者と健康状態の共有をしっかりと行っていく。  ・子どもの伸びる力の邪魔をしないように、子ど |
| 一人ひとりの生理的欲求（食欲や睡眠）が満たされるよう配慮していますか。 | ｂ | もの姿をよく観察し、必要以上に手を出さず、できることを見守ることを心掛けていく。  ・保護者から家庭での様子が得られるように、コ |
| 子どもが伸び伸びとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか。 | ｂ | ミュニケーションを大切にしていきたい。  ・子どもが自由に選択し、その中で伸び伸びと過 |
| 外遊びや散歩など、戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。 | ｂ | ごせる環境を作っていく。 |
| 生活面において、子どもが自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容（環境） | 一人ひとりの子どもが伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。 | ｂ | ・普段から情報のアンテナを張っておくことで子どもの中で流行っているものなどの情報や環境を用意することができた。 |
| いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。 | ｂ | ・保育教諭がすぐに手を出すのではなく、子どもたちが思いを伝え合ったり、子ども同士で互いの思いに気付いたり、解決をしていこうとする姿を見守ることを意識していく。 |
| 戸外でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。 | ｂ | ・室内のコーナー作りについて他のクラスも連携して心地良い環境作りをしていく。 |
| 子どもが全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。 | ｂ | ・戸外だけではなく室内でも安全に体を動かせる遊びが提案できるようにする。 |
| 子どもがいろいろな物に触れながらその性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していますか。 | ｂ | ・自然を取り入れ五感で感じられるようにしていく。  ・子どもがやりたい、やってみたいと思えるよう |
| 子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びができるようにしていますか。 | ｂ | な環境を作るためにも、自分自身も積極的に触れてみたり、体を動かすことで遊びを知る努力もしていきたい。 |
| 保育の内容（人間関係） | 園生活の中で、子どもが充実感を味わえるような体験を取り入れていますか。 | ｂ | ・友だちと一緒の楽しさだけでなく自分の好きをとことん楽しむことも大切にしていく。 |
| 子どもが保育教諭や友だちと共に過ごすことを楽しめるような配慮をしていますか。 | ｂ | ・必要以上に口を出してしまわないよう意識する。  ・子ども同士の関わりを見守る所と介入する所を見極め、 |
| 保育教諭の言動の一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。 | a | 子ども同士の関わりが広がり、深まるように意識していく。  ・子ども一人ひとりの思いに寄り添い、受容、代弁等を心 |
| つまずきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものととらえ適切に対応していますか。 | ｂ | 掛け、愛情を持って接する。  ・受容的、応答的、肯定的な姿勢を大切にしていきたい。  ・お互いを認め合うことで思いやりのある関係を築いて |
| 子どもが思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気づくように援助していますか。 | ｂ | いく。  ・保育教諭が子どもの見本となり充実感を味わえる体験を取り入れていく。 |
| 保育の内容（言葉） | 子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使うよう心がけていますか。 | ｂ | ・保育教諭が常に言葉を引き出そうとするのではなく、子ども同士でのやりとりを今まで以上に大切にしたい。 |
| 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。 | ｂ | ・子どもや保護者に対して、声の大きさ、スピード、言葉選びに課題が残る。他の保育教諭の姿も参考にしてステップアップできるよう努力する。 |
| 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。 | ｂ | ・子どもに励ましや、やる気が出る言葉がけをしながら一緒に考えサポートすることを心掛けていく。  ・全体の保育の中で、時には児によってわかりづらい言葉 |
| 正しい言葉づかいや声の大きさに配慮していますか。 | ｂ | も使ってしまったので、どうしたら伝わりやすいかを考え、ポイントとなる言葉を選べるようにし、言葉での表現 |
| 子どもが見たり考えたりしたことなどを自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。 | ｂ | の幅を広げていく。  ・絵本の読み聞かせの機会をもっと増やしていく。 |
| 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容（表現） | 子どもが歌ったりリズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。 | ｂ | ・リズムあそびやダンスをもっと取り入れていく。  ・五感を使うあそびを日々の保育の中で自然と取り組めるようにしたい。 |
| 子どもの表現を受け止め、共感し、表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。 | ｂ | ・今年度は歌や楽器に触れる機会が少なかった。どの様な表現を好むのかを見極め、活動を充実させていく。  ・手遊びや季節の歌、子どもたちの好きな歌を積極的に取  入れていきたい。 |
| 様々な音、色、形、手触り、動き、香りに気付いたり、心地よさを感じる機会を作っていますか。 | ｂ | ・子どもと一緒に楽しむ・感じる・共感する等を大切にしながら保育をしていく。  ・工作では、作りたいものを存分に表現できるように見守ることができたが、こちらの提案をしていくのか、子ども |
| 水、砂、土、紙など自然の素材に触れて楽しむ機会を取り入れるよう心がけていますか。 | ｂ | からからのアイディアを待つのか…判断が難しかった。子どもがどう考えて工夫していくのかをゆとりを持って見守るようにしていく。 |
| 感じたことや考えたことを自由に表現できる機会を設けていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容（乳児保育） | 一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。 | ｂ | ・個々の健康状態については家庭と連携をとりながらしっかりと把握するように今後も心がけていく。 |
| たて抱き、腹這いなど子どもが様々な姿勢をとれるようにしていますか。 | ｂ | ・午睡時のチェック表の記入が疎かにならないように気を付けていく。 |
| 乳児を寝かせる場合には安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い、記録をしていますか。 | ｂ |  |
| 外気に触れたり戸外遊びを行う機会を設けていますか。 | ｂ |  |
| 離乳食については、家庭と連携を取りながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容（１・２歳児） | 基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。 | ｂ | ・甘えられる安心感、やりたくなる関わり方、見守るゆとり…一人ひとりの発達に合わせて意識するポイントを考えていく。 |
| 子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。 | ｂ | ・子どもの自分でやろうとする気持ちを大切にし  必要以上に手を貸すことはせず、見守る姿勢を常に意識をしていく。 |
| 衣服の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。 | a | ・子どものその時の気持ちを汲み取り、見守ったりその時の様子に合わせながら関わっていく。  ・一人ひとりの個性を認め自信につなげ、明日も |
| ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。 | ｂ | 保育園に行きたいと思える保育をしていく。 |
| 楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容(３歳以上)  （３歳以上児） | 生活に必要な習慣や態度を身につけ、適切な行動を選択できるよう配慮していますか。 | ｂ | ・保育教諭同士でお互いの思いや考えを伝え合い、柔軟に物事を考えていくことで保育内容も充実していくと思う。  ・今後も一人ひとりの思いに寄り添いながら、自分自身で  出来ることの喜びや自信へ繋げられるように、支援や見守りを大切にしていく。 |
| 決まりがあることの大切に気づき、自ら判断して行動できるよう配慮していますか。 | b | ・保育教諭が生活のルールを決めていくのではなく、子ど  と一緒にルールを考え、柔軟に対応していく。 |
| 感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していますか。 | b |  |
| 保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していますか。 | ｂ |  |
| 保育の計画及び評価  保育の計画及び評価 | 園の保育課程（全体的な計画）を理解していますか。 | ｂ | ・自分の考えを伝えるだけではなく、他の保育教諭の感じたことや気付きを聞くことを |
| 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。 | ｂ | 心掛けていく。  ・自分の知識を広げつつ、保育教諭間で知識を共 |
| 一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。（0～2歳児） | ｂ | 有する時間を作っていきたい。  ・保育計画に基づいた評価・反省をクラス職員と話し合い、一貫性のある保育を大切にしていく。 |
| 指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。 | ｂ | ・遊びの中で体の機能や知能、指先の発達など、もっと細かく見られるようにしていきたい。  ・自己の課題を明確にし、“改善しよう”　“より良くしよう”とする強い意識と意思を持つ。 |
| 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に活かしていますか。 | ｂ |  |
| 障がいかある子どもがいる場合、その子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていますか。 | ｂ |  |
| 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に活かしていますか。 | ｂ |  |
| 健康及び安全 | 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に活かしていますか。 | ｂ | ・感染症対策にもう少し力を入れていく。  ・ケガを減らす環境を作りつつ、色々なこと |
| 感染症に対する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。 | ｂ | にチャレンジできるようにサポートしていきたい。 |
| 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。 | ｂ | ・感染症や病気についての知識を深める必要がある。 |
| 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。 | ｂ | ・クラス単位だけでなく園全体で散歩経路や散歩先の安全点検を行い、情報を共有していく。  ・子どもの健康面、安全面に留意し日常生活を安 |
| 保育室、トイレなどを清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。 | ｂ | 心して気持ちよく過ごせるように、環境を整えていく。 |
| 子どもが使用する玩具などを消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。 | ｂ | ・嘔吐時の対応として周りの保育教諭に対しての声かけが足りなかったので、全体を把握し、的 |
| おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋などの使用など衛生に配慮していますか。 | ｂ | 確な判断ができるようにしていく。  ・定期的に玩具の点検や入れ替えを行っていく。 |
| 園内の整備、玩具、用具など定期的に確認し、破損の有無を確認していますか。 | ｂ | ・コロナウイルス感染症が５類になり、感染症予防や消毒への意識が以前より低くなってしまっ |
| 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険などを定期的に点検していますか。 | ｂ | た。感染症の流行時には、気を引き締めて清潔に気を付けていく。  ・食事の時間は子どもにとって楽しい時間ではあ |
| 災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。 | ｂ | るが、支度や片付けで忙しくしてしまうので、職員間で連携し合い、スムーズな流れを作っていき |
| 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。 | a | たい。  ・散歩先での災害発生時、怪我やアレルギーの対  応に不安を感じるので、すぐに対応ができるようにもう一度振り返っていく。 |
| 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。 | a |  |
| 子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしないよう配慮していますか。 | a |  |
| 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていますか。 | a |  |
| 保護者支援 | 送迎の際の会話や連絡帳を通して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。 | ｂ | ・保育教諭から発信するだけではなく、話しやすい雰囲気、時間のゆとりを作りながら、保護者の話を聞く時間を、大切にしていく。 |
| 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。 | ｂ | ・今後も一人ひとりの子どもに寄り添った保育を心掛けるとともに、保護者にとって良き相談相手になり、信頼 |
| 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。 | ｂ | が築いていけるようにする。 |
| 職員の資質向上 | 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。 | ｂ | ・保育教諭一人ひとりが自分を出し、互いにサポートしたり伸ばし合ったりできるよう、会話を大切にしていく。 |
| 園内外における研修に目的を持って積極的に参加していますか。 | ｂ | ・人と向き合うことを通して(大人・子ども)お互いに成長できると思うので、相手の立場や思いやりを持って意見を伝い合いたい。 |
| 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。 | ｂ | ・研修参加や参考書で知識を深め、保育の資質向上に努めていき、  学んだこと、気付きを保育教諭間で話し合い、伝え合うことを大切にしていく。 |

令和５年度の振り返り

【乳児室】

・実習生の姿や関わりから、自分の日ごろの保育や言動を振り返り、基本に忠実に保育をしていくことを考えさせられた。保育教諭は環境の一部ということを意識していく。

・絵本をゆったりと読める環境がなかったので、空間を有効に使う工夫をしていけば良かった。

・保護者対応では、乳児室は保育園に初めて預ける人が多いので、より丁寧な対応を心がけることが大切だと感じた。

【１歳児クラス】

・子ども自身が選択できる環境作り(室内、園庭、散歩など)を他のクラスと協力したことで、自分のクラスだけでなく、他クラスの保育教諭と関わり合うことができたので良かった。

・保護者と連絡ノート以外に育ちを伝え合い共有することができた。人的環境も柔軟に整えていくことが大切。

・日誌を書くように、担任間で子どもの様子を日々話し合うことで情報共有ができた。

・トラブルの仲裁やあそびの広げ方は、保育教諭が中心にならないようにしていきたい。

【２歳児クラス】

・登園時の受け入れでは、子どもの体調の視診をし保護者との関りを大切にした。

・イヤイヤ期やトラブルもあったが、学びのひとつと捉えて丁寧に関わるようにした。

・一人ひとりの個性を認め、保護者には素敵な所を伝えながら、保護者にとって安心して預けられる保育教諭になっていきたい。

【異年齢児クラス】

・未満児クラスの担任から異年齢児クラスへ移動した保育教諭が多く、今までのやり方ではないやり方や流れがあることに刺激を受けることができた。

・保育に正解はないが、色々な子どもたちの要素があり、全て受容だけではなく、その日その時の姿を見極めて保育教諭で共有していくいくことの難しさを感じた。

【給食室】

・コロナウイルス感染症も落ち着き、以前のようなクッキング保育ができるようになって良かった。クッキングの内容も、最初から最後まで子どもたちが作って完成させ、食べる一連の流れを体験することが大切だと感じた。

・給食会議で保育教諭の意見を聞くことで、献立作りの参考になっている。

・急な休みなどで、給食の業務を一人で全て行うことが大変になってきている。そんな状況の時に食中毒など起こりやすいので気を付けていかなければと思う。